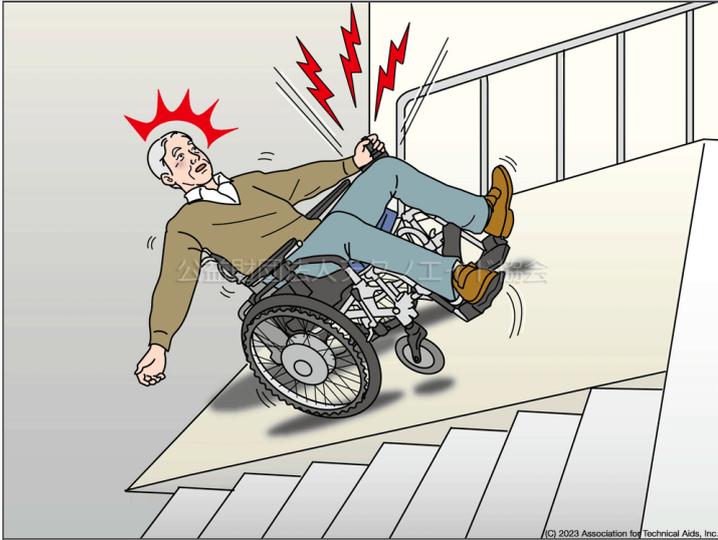


Case : 383

警告ブザーに驚き、運転操作を誤りそうになった

場面の説明

傾斜路を運転操作中、傾斜角度の警告のブザーが突然鳴りだしたが、警告ブザーが鳴ることを知らなかったので慌ててしまい、運転を誤りそうになった、



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 坂道
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122127 (電動車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

警告ブザーは安全の確保のために備わる装置ですが、その存在を事前に知らなかったことでかえって慌ててしまい、事故になりそうになった事例です。納車時に警告ブザーの説明があり、どのような音が鳴るのか一度体験しておくことで、突然の音にも落ち着いて対処できるようになると思います。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：電動車いすの運転が不慣れで、緊張して操作していた
- 人：取扱説明書を読んでいなかった
- モノ：操作の概略が示された簡易的な説明書に警告ブザーの記載がなかった
- 環境：実用登坂角度を超える傾斜の坂道だった
- 管理：事業者は「取扱説明書」を読むように口頭で指示したが、実際に読んだか確認しなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 383

警告ブザーに驚き、運転操作を誤りそうになった

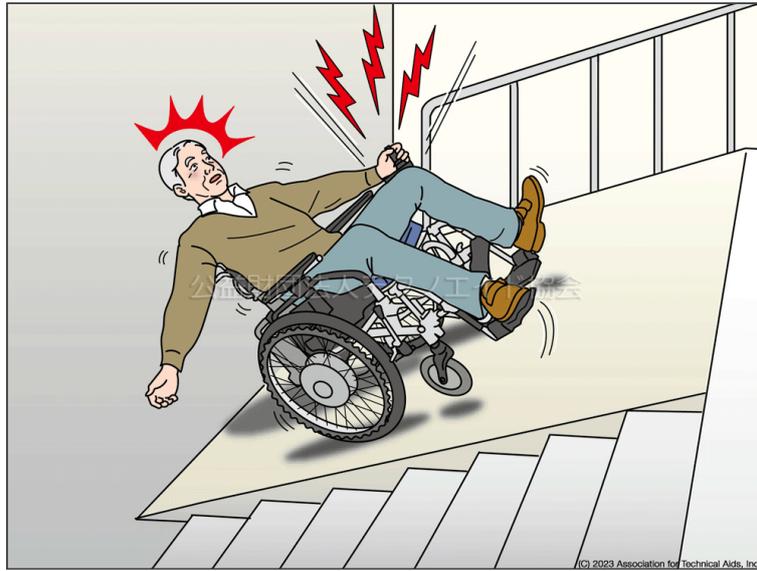
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

傾斜路を運転操作中、傾斜角度の警告のブザーが突然鳴りだしたが、警告ブザーが鳴ることを知らなかった
ので慌ててしまい、運転を誤りそうになった、



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ